

第4期（平成24年4月1日～平成25年3月31日）決算の概要

株式会社地域経済活性化支援機構

株式会社地域経済活性化支援機構は、平成25年6月28日、定時株主総会を行い、第4期事業年度の決算を報告しました。概要は以下のとおりです。

1 第4期事業年度は、支援決定8件、買取決定等6件、処分決定9件を行いました。また、11件については再生支援を完了しております。

・支援決定8件の内訳

(医社)三栄会、(医)盛全会等、(医)真木会、(株)紅乙女酒造、(株)中山製鋼所、(株)北都他1社、(株)マリーナ電子他1社

・買取決定等6件の内訳

(医社)白銀会等、(医社)恵仁会、(学)山本学園、(医社)三栄会、(医)盛全会等、(医)真木会

・処分決定9件の内訳

(株)日本航空他2社、セノー(株)他3社、(株)富士テクニカ他1社、藤庄印刷(株)、芝政観光開発(株)、(医)博悠会他1社、ヤマギワ(株)、(株)沖創建設他1社、(株)室崎商店

・再生支援完了11件の内訳

(株)日本航空他2社、セノー(株)他3社、(株)宮津製作所、藤庄印刷(株)、芝政観光開発(株)、(医)博悠会他1社、ヤマギワ(株)、ジョイパック(株)、(株)室崎商店、(株)ヤマニシ、(医)盛全会等

(注)上記は全て支援決定時点の社名で表示しております。また、支援決定8件には非公表案件1件を含みます。

2 貸借対照表の主なものとしては、資産の部の有価証券及び短期貸付金（国庫短期証券及び買現先取引による余資運用）として2,884億円、貸出金（支援対象事業者11社に係る債権買取及び新規融資）として147億円、関係会社株式（支援対象事業者6社に対する出資）として172億円、破産更生債権等として8億円、貸倒引当金として▲5億円、負債の部としては、未払法人税等として1,243億円、純資産の部としては、資本金（預金保険機構等からの出資）として230億円、利益剰余金として1,773億円となりました。

・短期借入金の借入金額及び借入時期

期首時点の残高	3,870億円	(借入先8社)	返済期日：平成24年7月20日及び同年8月22日)
平成24年7月19日	3,500億円	(借入先7社)	返済期日：平成24年10月19日)
平成24年8月21日	242億円	(借入先2社)	返済期日：平成24年10月19日)

3 損益計算書の主なものとしては、営業収益（株式売却益、貸出金利息等）として3,078億円、営業費用（DD費用、人件費及び地代家賃等）として54億円、特別損失（関係会社株式評価損、貸倒引当金繰入額）として12億円、差引き税引前当期純利益は3,012億円となり、更に税金費用（法人税等）として1,228億円を差し引いて当期純利益は1,784億円となりました。

以上